

楠木園 グリーン・ツーリズムについて、基本的な考えと、今後どのように推進して行くのか。
「※どぶろく特区」は考えられないか。

農政

農家民泊の推進は

町長／検討したい



楠木園洋一議員

町長 ガイドライン等を整備して、農家民泊を明確にしながグリーン・ツーリズムに取り組む人材育成を行います。農家民泊等の取り組みを推進した上で、必要であれば「どぶろく特区」も検討してまいります。

農地・森林の 荒廃対策は

町長／引き続き
研究課題とする

楠木園 少子高齢化が進むなか、農地森林の荒廃が見られる農地及び森林の環境を保護する条例の制定を考えていないか。

町長 町内では、地目が森林となっている土地は約6万筆あります。このうち2割に当たる1200筆が町外所有者であり、年々増加の傾向にあります。

不在所有者の的確な把握を行い、意向調査等を踏まえ、整備を図って参ります。

条例制定については、引き続き研究課題とさせていただきます。

どぶろく特区

規制が緩和され、どぶろく製造と、飲食店や民宿等で、その場で消費される場合に限り、販売も許可されている特別区域のこと。



農家へ民泊し、そば打ちなどを体験
(久富木ぴんコロ村)

消防団

団員定数減に不安！

町長／適正な組織再編を検討



木下敬子議員

木下 団員数の見直しを検討されているが、高齢者の多い地域にとって消防団は大事な組織である。自主防災組織を確立してから、検討すべきでは。

町長 団員一人当たりの人口を見ると、薩摩地区は団員数が多い現状です。幹部、後援会、消防本部との会議では団員定数の減はやむを得ないとの意見を集約しました。しかし、地域住民の理解が必要なので、地区の実情を配慮した削減を考えてまいります。



消防出初め式(宮之城運動公園)

町立薩摩診療所の 今後は

町長／医療確保は
行政の責務

木下 本年度で現医師との契約切れとなる町立薩摩診療所の運営は引き続き続けられるのか、再度確認したい。

町長 薩摩地区においては、高齢者の占める割合が高く、受診者の多くも高齢者であるため、地域医療の確保と町民の健康維持を図るための協議を進めています。民間移管の時期については、諸手続が必要になりますので、早い機会に結論を出します。